

NICU 専攻コース

< 概要 >

当院の NICU 病床は 15 床（狭義 NICU9 床、GCU6 床）あり、産婦人科と協力して奈良県北部の周産期医療の中核を担う。NICU で研修を行う小児科医は、主治医として受け持つ患児とその家族に責任を持つ。原則として研修開始から 3 ヶ月間は指導医が付き添い、その間、自分の患児の処置、指示出し、家族への病状説明などを他の医師に任せない。4 ヶ月目以後は NICU の他の医師と同様の対応となる。

< 一般目標 >

NICU で行う医療は intensive care に加え、母子間愛着形成の支援にスタッフ全員で取り組む。新生児の病態生理を理解した上でポジティブな面を強調する病状説明や母乳保育の推進、カンガルーケア、ポジショニングなどのナラティブな医療態度を修得する。新生児期を出生前から成人までの一時期と位置づけし、小児科医として発達する子どもとその家族に添う心と技術を養う。

< 行動目標 >

日常診療手技

- 1) Heel cut による採血法、血液ガスデータの読み方
- 2) 中心静脈カニューレーション
- 3) 気管挿管および人工呼吸管理
- 4) 蘇生技術
- 5) 動脈 line 確保および観血的血圧モニタリング
- 6) 頭部超音波検査；出血、PVL（脳室周囲白質軟化症）などの診断、および動脈血流波形を用いた予後の評価など
- 7) 心臓超音波検査；先天性心疾患の診断、心機能評価による循環動態の把握および強心剤などによる管理など
- 8) 腹部超音波検査；腸管および腎血流による循環動態の評価、肝腎疾患の診断など
- 9) 胸部レントゲン、MRI、CT、脳波、心電図、ABR の読み方

特殊診療手技（重症仮死などの新生児に対して比較的日常的に行う）

- 1) NO 吸入療法
- 2) 脳低温療法
- 3) 交換輸血 / 部分交換輸血
- 4) 腹膜透析

< カンファレンス >

抄読会および輪読会（1 回 / 週）

新生児勉強会（1 回 / 月）：学会やセミナーの報告会など

奈良県新生児研究会（3 回 / 年）

< 学会と発表 >

- * 新生児関連学会：日本小児科学会、日本周産期新生児学会、日本未熟児新生児学会などに発表し論文を書く。
- * 心身症、発達障害、重症心身障害、神経、循環器、内分泌、アレルギーなど興味のある学会やセミナーには積極的に参加する。

< 業務内容 >

- 1．NICU、後方病床、産科病棟新生児室に入院する新生児の受け持ち
- 2．NICU 当直
- 3．新生児搬送
- 4．ハイリスク分娩の分娩立ち会い
- 5．産科病棟新生児室の健常新生児の処置
- 6．1ヶ月検診
- 7．シナジス予防接種外来
- 8．発達外来；開始時期については本人の希望によりスタッフ間で相談の上、判断する。

< 取得をめざす認定医・専門医資格 >

日本小児科学会専門医

日本周産期新生児医学会新生児専門医

< 学会認定・認定施設 >

日本周産期新生児医学会新生児研修指定施設